

2019 年度 実践女子大学短期大学部 派遣留学報告書

留 学 先	ビクトリア大学		
留学先での所属	GE3、EAP4		
派遣期間	2019 年 8 月～12 月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	英語コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース	派遣時学年	1 年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

この五か月間で私はたくさんのことを得ることができ、それと同時に以前に比べ成長することができたと実感しています。留学前は英語を使って話すことに自信がなく、目を見て話すことや、話を続けることができませんでした。今では同世代の外国の友人を持つことができ、様々な話ができるようになりました。育ってきた環境や言語の全く違う子たちと最初はうまく付き合っていけるか不安もありましたが、とても良い友人関係を築くことができ良かったです。また、初めの頃は一人で買い物に行くのにも英語に自信がなく抵抗がありましたが、徐々に環境に慣れてきて最終的には一人でどこに行っても問題なく用事を済ませることができるようになっていました。生活面では、ホストマザーとのコミュニケーションが留学に来てすぐの頃と比べ、帰るころには格段に取りやすくなっていました。ホストマザーの話している内容に対して自分の意見を述べることや、リアクションが自然ととれるようになっていました。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

留学へ行く前は不安もたくさんあると思いますが、実際行ってみると新たな自分を発見することができたり、様々な国の生徒たちと関わることで価値観を大きく変えることができます。そして、どれも自分が成長する上で大切なことだと思うので、留学する前からしっかり留学して何を得たいか、英語を使ってどんなことがしてみたいかなどモチベーションを高めておくと、向こうの生活でも迷いなく取り組むことができると思います。

2019 年度 実践女子大学短期大学部 派遣留学報告書

留 学 先	ビクトリア大学		
留学先での所属	GE3、EAP4		
派遣期間	2019 年 8 月～12 月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	英語コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース	派遣時学年	1 年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

最初は全くと言っていいほど話せなく、英語を使うことに抵抗もありましたが、生活をしていくうちに抵抗はなくなりました。文法が間違ってもそれをわざわざ会話中に注意されることやダメという人もいないので、自分が言いたいことを伝えようとする中で相手も真剣に聞き取ろうとしてくれました。専門的なことを話すことは難しいですが簡単な日常会話ができるようになりました。街でわからないことがあって人に尋ねるとみんないい人ばかりでとても親切でした。海外で生活することは簡単とは言えませんが、大きなホームシックになることもなく毎日充実していました。様々な国籍を持った友達ができることがとても嬉しく幸せです。日本とは違う多くの文化を経験したり、日本では滅多に食べない国の料理を食べたり刺激的な事も多かったです。

しっかりとした文章を書く際に日本ではいつも I think... などと書くことばかりでしたがそれは使わないことを一例に、気を付けることや新しい知識をたくさん学びました。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

ビクトリア大学に留学して、クラス分けのテストがエッセイだったのである程度の量のある文章を書くことに慣れていた方がいいと思いました。日頃から日記をたまに英語で書くなど簡単な事を続けるのが大切だと思いました。また少しでも多くの単語を覚えた方がいいと思いました。加えて、英語で話す機会を積極的に見つける、オンライン英会話など自分が続けられる英語の学習方法を見つける事も大切だと思いました。

2019 年度 実践女子大学短期大学部 派遣留学報告書

留 学 先	ビクトリア大学		
留学先での所属	GE3、EAP4		
派遣期間	2019 年 8 月～12 月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	英語コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース	派遣時学年	1 年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

留学をする前の私は、もちろん海外に行けるので楽しみだったのですが、その反面不安でいっぱいでした。

最初の10日間くらいはずっと日本人と行動していて、遊ぶのもほとんど日本人でした。でも英語を上達させるために留学をさせてもらったのにこのままではダメだと自分に言い聞かせました。そして連絡先を交換した韓国人の女の子と遊ぶ機会を作り、私の知っている単語で精一杯自分の意志を伝えました。その時、自分の話した英語が通じて会話ができると、こんなに嬉しくて楽しいことなんだと思いました。そこから私の英語に対する思いが少し変わった気がします。もっと内容の薄い話ではなく、濃い話がしたいと思うようになり、小さいノートを持ち歩き日々の生活の中で見たもの、聞いたもの、頭に浮かんだすべての単語を書き込みました。その効果があり、単語数が増え、海外の人といろいろな話ができるようになりました。ホストファミリーとも最初は緊張していたものの、私の気持ちの変化によって以前よりも沢山会話が弾むようになりました。5歳の男の子(オスカー)が積極的だったのもあります。彼が積極的に話しかけてくれて、遊ぼうと誘ってくれたので、私も積極的に話せるようになったのかなと思います。

学校でも、最初日本人同士で固まっていたのですが、自然とクラス仲が深まり、日本人同士だけではなく、多国の留学生とともに、放課後に出かけたりお昼を食べたりするようになり、本当に毎日が楽しかったです。もちろん英語を完璧に話せるというわけではないですが、自分が伝えようという気持ちがあれば、相手も理解しようとしてくれます。だから私はそういった機会を大事にしました。

他にも大学で定期的開催される交流会には極力参加し、たくさんの友達を得ました。

私はこの留学で英語力はもちろん上がりました。その英語力を伸ばしてくれたのは沢山の友達と私のホストファミリーです。私はホストファミリーを本当の家族と思っています。オスカーも私のことを姉と慕ってくれています。私は4か月で築き得た全ての関係を一生大切にしたいです。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

最初は海外の人と話すのは怖いかもしれませんが、積極的に話しかければ、海外の人はもっと話しかけてくれます。間違えるのは当たり前なので間違えを恐れないことが大切です。私は完璧な英語、完璧な文法で話そうとは考えずに、まずは分かる単語、文法で無理のないように会話をしようと心掛けました。そしてあらゆるところから聞こえる文法や単語などを真似していくうちに、徐々に長い文章で話せるようになりました。いろいろ試し、自分に合ったやり方を見つけて英語力を向上してください。

2019 年度実践女子大学短期大学部派遣留学報告書

留 学 先	ビクトリア大学		
留学先での所属	GE3、EAP4		
派遣期間	2019 年 8 月～12 月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	英語コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース	派遣時学年	1 年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

四カ月オーストラリアに滞在して、いろいろなことを体験しました。

私のホストは、イスラエル人でした。彼らは普段ヘブライ語を話していて、私といるときだけ、英語を話してくれました。そのことに初めは戸惑っていましたが、後半には、ヘブライ語を少し勉強して、使ってみたりしました。今思うと本当に貴重な体験だったと感じています。

また、ホストは、夜揃って外出していることが多く、さみしく感じる時がありましたが、一方ではとても気を楽しんで、生活することができました。ホストのいない夜にはクラスメイトと勉強したり、学外のイベント（ミートアップ）に参加しました。

ミートアップとは、学校とは関係していないイベントで、アプリでイベントを見つけて、自分で行くものです。英語の勉強のために、三回ほど参加しました。トーキングイベント、カンガルー見学イベント、星空観察イベントとどれも楽しかった

一回目は、無料のトーキングイベントでした。それは実践大学から一緒に留学してきた友達と行きました。ほとんどの人が、オーストラリアにワーキングホリデーで来ている年上の方たちでした。イベントを企画しているオーストラリアの方はみんな優しくフレンドリーで、とても楽しかったのを今でも覚えています。ですが、英語力がまだまだなのもとても感じました。二回目は、カンガルーを見に行くイベントに行きました。これは、10ドル、日本円で800円くらいかかるのですが、野生のカンガルーやウサギ、オーストラリアの鳥をみることができました。このイベントには一人で参加しました。参加者20人の中、日本人は私一人でしたが。このときから、英語を話すことに躊躇が消え、楽しく話せるようになりました。三回目は、星を見に行くイベントに参加しました。これにも、一人で参加しました。参加費は10ドルでした、これは夜遅いイベントのせいか現地の方々が多数参加していました。50人くらい参加していた中で日本人は6、7人でした。オーストラリアの星は日本比べ、とても明るくて、色もあり、本当にきれいで参加してよかったと感じています。

また、私は約4カ月間毎週2回ダンスのジムに、ホストマザーと行って行っていました。ダンスは本当に初心者だったので、初めは恥ずかしくてあまり楽しめなかったのですが、最後は本当に楽

しかつたと感じています。また、ダンスの先生とジムの方々と、カジノとクラブに一度行きました。本当にいい体験だったのを覚えています。まるで映画
を見ているかのようでした。

オーストラリアについて早々にホストシスターとパーティーに連れて行ってもらった時は、私がとてもシャイだったので、誰とも話すことができず、怖くなってすぐに帰り泣いてしまいました。

3カ月経って、カジノとクラブに行き楽しめたことに、自分の性格の変化を感じました。学校では、レベルが上がってから、頑張ってシャイな性格を隠して、沢山のいい友達をつくる
ことができました。彼らと海に行ったり、遊園地に行ったり、放課後一緒に勉強したり、本当にいろいろな所に行きました。

この4カ月で得た一番のものは友達だと思います。彼らとは、これから先も連絡を取り合える
ほどの友達になったと思っています。

英語力も4カ月経ち、成長できたと感じます。でも、もっと長く滞在することができたら、も
っと英語力が伸びることができるということです。もっとオーストラリアにいたいと今思っ
ています。

とても短い時間でしたが、今までの私では体験することのなかったことを沢山経験することが
できました。日本では、体験できなかった貴重な経験をオーストラリアでできたので、お父さん
とお母さんに本当感謝の気持ちでいっぱいです。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

私は、留学することを決めたときには、英検準2級を持っていましたが、その後来る前まで
に、英検2級をとりました。勉強は元々あまり好きではなく、英語にも少し苦手意識がありま
したが、留学が終わった今、とても英語を話すことが好きになりました。正直、まだ得意とい
うレベルまではいっていませんが、これからもっと頑張ろうと思うきっかけを得られたと思
います。もしも、挑戦してみたいなら、私は本当にすべきだと思います。

また、楽しいことだけではないので、本気で頑張ろう、楽しもうという意味は必要だと思
います。私も、はじめいろいろな不安があり、帰りたと思ったことも何度もありました。それ
でも、来たからには頑張ろうという意思があったので、この4カ月楽しみながら、頑張り抜くこ
とことができました。もし、留学することが決まったら、楽しみながら、頑張りたいと思
います。

私がいったビクトリア大学は、正直教育面でいいかはわかりません。いい友達をつくるための
イベントは多くありました。是非外国の方に自分から話しかけて、仲良くすることをお勧めし
ます。

2019 年度 実践女子大学短期大学部 派遣留学報告書

留 学 先	ビクトリア大学		
留学先での所属	GE3、EAP4		
派遣期間	2019 年 8 月～12 月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	英語コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース	派遣時学年	1 年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

たくさんのいい友達ことができました。毎日、一緒に勉強して、いろいろな所に遊びにも行きました。彼らとはこれからも連絡を取り合える関係になればいいなと思っています。オーストラリアには、美味しいものがたくさん集まっていて、よく彼らと食べるディナーは美味しかったです。学校のイベントにもたくさん参加しました。ハロウィンやクリスマスのイベントに参加したおかげで、他のクラスの生徒と交流することもできました。日本では、感じられない雰囲気や体験をすることができました。また、いろいろな国の文化を感じるすることができました。

また、私はオーストラリアとイギリスのハーフの子どもたちと一緒に暮らして、たくさん遊んだり、話すことができました。ホストマザーとファザーは、私にとっても優しく接してくれて、過ごしやすかったです。時には、部屋を子どもたちに汚されたり、携帯電話を取られたり、困ることもありましたが、最初の頃よりも会話ができるようになったおかげで、嫌なことは嫌だと言って、自分の力で解決できるようになりました。ご飯は、毎日とても美味しく、特にお気に入り、ファザーが作るトロピカルピザです。もうこの味は忘れられません。忘れたくないです。また、週末には、友達を家に招いて、クッキーを作りました。とても美味しかったので、日本でまた作りたと思います。

生活では、時にカルチャーショックを感じ、戸惑った場面もありましたが、すべてが経験で嫌なことも合ってよかったといまでは思います。

実際、充実してきた、帰国一か月前には、本当に帰りたくない気持ちでした。

来る前は、英語を話すことに躊躇をとめていましたが、3ヶ月経つと、英語を使うことに違和感はなく、自分の中でも日常的になっているので、間違ふことを考えずに、話すことができるようになっていました。また、授業でも、発言ができるようになり、英語力とともに、自分の性格も少し変わることができたように思います。

日本に帰って来た今、これまでの経験を無駄にしないように、一生懸命オーストラリアにいた時と少しでも同じような勉強や DMM 英会話を使って、オーストラリアにいたときの感覚を忘れないようにしたいです。

日本では体験できなかった貴重な経験をオーストラリアでできたので、両親に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

私は来る前、まったく話せないし、Be 動詞くらいしか正確に理解できていなかったのも、本当に不安だらけでした。しかし、それよりも留学をしてみたいという気持ちがあったので、ここまでくることができました。

もちろん、英語力をつけてから来たほうがいいと思いますが、もし留学をしてみたいという気持ちが少しでもあるなら、チャレンジすることは無駄にならないと思います。しっかり勉強をしなければならないことを理解して、留学するという事だけに頼らず、勉強して、同時に楽しんでほしいです。私はただ英語に関心があるだけでなく、環境の違ったところで自分の性格を少しでも変えたいという思いで留学を決めました。動機は人それぞれでいいと思うので、頑張る気持ちがあれば、ぜひ挑戦してみてください。